

伝統文化交流事業ゆとりぎ

「天空の御嶽神楽」公演

青梅市御岳山にある武蔵御嶽神社に伝わる
太々神楽（だいたいかぐら）は、昭和三二年に
東京都の無形民俗文化財の指定を受け、社家
三二戸の世襲により二百数十年間伝承されて
います。
神様をお慰めしともに楽しむ由緒正しい神楽
を神主の解説と合わせてご鑑賞ください。

★ 出演 武蔵御嶽神社

★ 日時 平成三〇年一月十四日（日）

開場 午後一時三〇分

開演 午後二時

★ 場所 羽村市生涯学習センター

ゆとりぎ 大ホール



全席自由 入場料無料（要入場整理券） 未就学児入場不可 保育あり（8日前まで要予約・有料）

入場整理券配布：10月17日（火）から直接ゆとりぎ窓口へ（月曜日を除く午前9時から午後5時）

●お問合せ：羽村市生涯学習センターゆとりぎ Tel.042-570-0707（月曜日を除く午前9時から午後5時）

主催：羽村市・羽村市教育委員会生涯学習センターゆとりぎ 後援：青梅市教育委員会

伝統文化交流事業 inゆとろぎ

「天空の御嶽神楽」公演

武蔵御嶽神社



浦安の舞

あめつち

昭和天皇の御製「天地の神にぞいのる朝なぎの海のごとくに波たため世を」に当時宮内庁式部職楽長の多忠朝氏作曲と振付による巫女舞です。

皇紀2600年奉祝祭の昭和15年11月10日に全国で一斉に舞われ、今日でも各地で盛んに演じられています。



ほうへい 奉幣

素面の神楽に分類されますが、現在は翁の面を付けて舞います。舞台の中央と四方に幣を捧げる神楽で、能の三番叟のように最初に必ず演じて舞台を祓い清めます。

てんそんこうりん

天孫降臨

あまてらすおおみかみ

おおくにぬしのみこと

ににぎのみこと

天つ神・天照大神と国つ神・大国主命とで国譲りが成立し、天照大神の孫にあたる瓊々杵命が我が国に遣わされることになりました。そこで天穂日命を偵察に向かわせると、天の八街(分かれ道)に国つ神・猿田彦神が異様な姿で立ち塞がって先に進めません。次に天鈿女命が猿田彦神に問うと、天孫の道案内のためにお待ち申し上げていたと答えます。そして瓊々杵命が降臨されることとなります。神楽では、先ず猿田彦神が登場し、次に天穂日命が現れ、次に天鈿女命が遣わされた後、瓊々杵尊が登場します。全員が登場し猿田彦神と天鈿女命が祝いの鈴舞を演じます。

山の神

しこめ
醜女の面をつけ杓子と鈴を持って、神楽の最後に演じる舞です。神の名は磐長姫といい、天孫邇々杵命の妃となった木花咲耶姫の姉神にあたります。磐長姫は妹神とは違い不美人でしたが、大変な働き者の長寿をもたらす神でした。神楽は^{だいじょうえ}大嘗会で神々に御食を奉る舞といわれています。

御嶽神楽展

平成30年1月6日(土)~1月14日(日) 10:00~17:00

羽村市生涯学習センターゆとろぎ展示室(入場無料)

御嶽神楽に関連した物具を展示します。

